三中だより

校訓　自治　親和　責任

学校教育目標
自ら考え
人と協働して
行動する生徒の育成

令和３年６月２５日　第３号　珠洲市立三崎中学校

三崎中学校校歌
珠洲の海原　そよ風渡り　　いま朝日子の　光のうちに
玉も白たま　より来る岸辺　望みあふれて　いそしみはげむ
我等が　三崎中学校

珠洲市立三崎中学校　検索

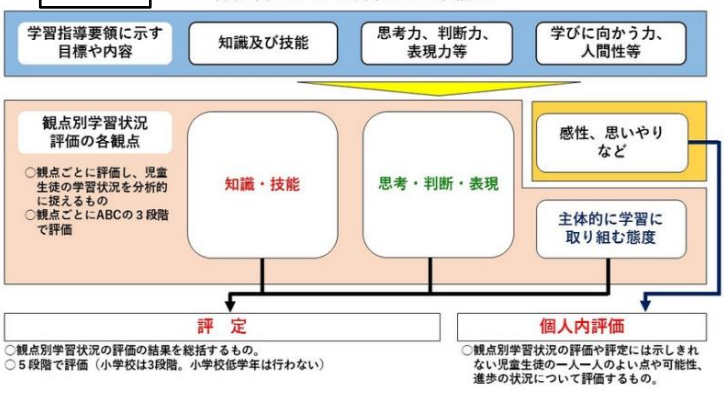
今年度 評価・通知表が変わります

生徒の自己学習力向上を目指し
教師の指導改善に生かすために

校長　四十住　基子

今年度より学習指導要領が改訂され，学習評価も変わりました。学習評価は学校の教育活動について，「生徒一人一人にどんな力が身に付いたか」適切に捉えて，改善に生かすために行います。生徒にとっては，自分の学習を振り返って次に生かすために，教師にとっては，授業の改善のために，非常に重要です。注目すべきは，評価とは一方的に生徒に与えるものではないということです。もしも好ましくない状況があれば，授業の展開を変えたり，個々の学習を適切に進められるように助言したり，教師の指導改善に生かす，ということです。

図



○４観点から３観点へ　　今回の改訂で全教科等の目標及び内容が三つの柱で整理され，それに伴って，観点別の評価も，それまでの４観点から３観点に整理されました。（右**図** 参照）

○どんな場面で，どう評価するのか

では，どのような学習を通して，どんな観点で，どのように評価するのか，下**表** にまとめました。

表	観点	評価の場面や方法
1	**「知識・技能」**	・テスト→　知っているか「用語」を問います　／　本当に理解しているか「考え方」まで問います ・授業　→　「知識や技能」を用いる場面を設定して評価します ／「説明できる」「観察・実験できる」「式やグラフで表現できる」か
2	**「思考・判断・表現」**	・テスト→　論述形式やグラフや図を使って解説を求めます ・授業　→　多様な活動を取り入れて評価します　／「論述」や「レポート作成」「発表」「グループ＆学級での話合い」「作品の制作や表現」「実技」等
3	**「主体的に学習に取り組む態度」**	・学習活動全般や三崎中「プログレスカード」 →　よりよく学ぼうとしているか，２側面から評価します。①「粘り強く取組もうとしているか」②「学習の仕方を自分で色々試しているか」です。





○通知表はどう変わるのか　　１学期末に通知表を渡します。その時の評価・評定は，上記の**３観点毎に「Ａ・Ｂ・Ｃ」を評価し，それらを総括して，５段階の評定（通知表の数値）**にまとめます。詳細は，生徒には授業で，保護者には通知表渡しの際に説明いたします。

○最後に　　単なる暗記だけでなく，体験を重視したり，実技や制作をして相互に評価をしたり，グループで話し合いをしてよりよい考え方を練ったり，レポートでまとめたりするのは，「知識・技能」が使えるようになってほしい，課題解決のために「思考・判断・表現」できるようになってほしい，たとえつまずいても試行錯誤しながら粘り強く「主体的に学習に取り組める」ようになってほしい，という目的があるからなのです。

地域と学ぶ

３年生はアステナホールディングスの岩城さんと共に考えました。

６月７日（月）に３年生は，アステナホールディングスの社長 岩城慶太郎さんのお話をお聞きしました。東京生まれ東京育ち，仕事の関係で海外の国々をまわられた経験をもつ岩城さんの一番好きな場所は珠洲なのだそうです。なぜ好きなのか…理由は「地産地消ができる」「互助（地域の助け合い）がある」「祭り（地域の伝統文化を地域の人で守っている）」ということでした。珠洲に生活している私たちにとって当たり前だと思っていることが，他の地域の方から見るとそうではないことに気づかされました。

岩城社長はとても気さくな方で，お話も興味深く，楽しい時間はあっという間でした。

30 歳になったときに珠洲に欲しいものを考え，わたしたちのグループはショッピングモールという答えを出しました。みんなで話しあい，珠洲にショッピングモールを建設し，運営していくことを考えると，簡単なことではないと気づきました。けれど，行動に移さないと何も変わらないと聞いて，わたしも少しずつでも良いので，珠洲のために行動していきたいと思いました。

３年　泉　　理緒





わたしは，楽しい仕事なんてないと思っていました。でも３人の講師の方々のお話を聞くうちに「わたしもこんなところで働きたい」と思えるようになりました。個人的ではありますが，「社長」の肩書は怖いと勝手に感じていました。今回，こんなに話していて楽しい社長さんのいる会社が近くにあること，社長さんと話せる機会があることを知りました。このような機会をつくってくれた岩城さんに感謝したいと思います。また，これからは「わたしたちから見る珠洲」だけでなく「周りから見た珠洲」について考えたいです。　３年　畠田　苺香

岩城社長が「今まで行った場所の中で珠洲が一番好きだ」と言ったことです。自分では今まで珠洲は何もない所だと思っていたので驚きました。また，「地産地消・互助・祭りがすごい事だ」と言ったことに驚きました。自分たちは当たり前にやっていたことだけど，岩城社長が「都会じゃありえない」と言っていたので，すごい事なんだなと思いました。これからは珠洲のよさをもっと探して，いろいろなところにアピールできればいいと思いました。　３年　久徳　謙心



７月の行事予定

地域代表，保護者代表，学校の三者が集い，学校の運営方針について話し合います。

２日（金）	学校運営協議会
５日（月）・６日（火）・７日（水）：期末テスト	
７日（水）	ｼｪｲｸｱｳﾄいしかわ・避難訓練
16 日（金）	育友会研修会
20 日（金）	終業式
21 日（金）	通知表渡し
27 日（火）・28 日（水）・29 日（木）	わくワーク体験（予定）（２年生）
27 日（火）	親子議会

◆地引網体験は今年度中止となりました。

※学校公開ウィーク：７月９日（金）～16 日（金）

ありがとうございます　いただきもの

池端　伸幸　さん（寺家）より
『ブロッコリー』

宮野　豊さん（二本松）より
『ブロッコリー』

青坂　菊夫さん（寺家）より
『玉ねぎ』

給食の食材としておいしくいただきました。

三崎中育友会長　竹上　稔さんより
生徒・職員全員に『スポーツドリンク』

２年生着付け教室

６月１７日（木），三崎公民館で着付け教室があり，２年生が華むすびのみなさんに教えていただきました。普段なかなか浴衣や着物など着る機会がなく，戸惑ったことも多かったようです。しかし，最後は，自分の選んだ浴衣を着ることができた，とても充実した時間になりました。

わたしは小さいころに浴衣を着てから今回，ひさしぶりに浴衣を着るということを楽しみにしていました。もちろん，ちゃんと着られるのか心配でした。しかし，華むすびの方々がよく見てくださり，一つ一つ丁寧に直してくださったり，教えてくださったりしたので安心できました。もし，今後浴衣を着る機会があったら，今日学んだこと，感じたことを生かしてみたいと思います。

松井　菜乃華

僕は，浴衣や着物があることは知っていたけれど，正しく着る方法やかっこよく見せる方法は知りませんでした。なので，今日の体験で着る楽しさを感じられて，とてもうれしかったです。

畠田　煌心

浴衣はかっこいいけど着るのはとても難しいと思っていました。けれど，優しい言葉で丁寧に教えてくださったので簡単に着ることができました。女子の浴衣の着方との違いや帯一本でたくさんの種類の結び方ができるなど，勉強になりました。

干場　蓮司



わたしは自分で浴衣を着たことはなく，最初はかなり不安でした。裾が床に付かないように上げたり，おはしょりを作ったりとかなり苦戦しました。一番難しかったことは，帯を結ぶことです。真似しようとしてもなかなかうまくできませんでした。しかしやさしく教えていただけたのでうまく結ぶことができました。

今日の体験から家にある浴衣を自分で着られるように，そして華むすびさんのように日本の文化を広められるようにしたいです。

向平　美玖

全校生徒で環境整備・サルビアのプランターづくり

６月１５日（水），全校生徒で１人１プランターづくりを行いました。校務員の藤波さんに準備してもらったふかふかの土が入ったプランターに，サルビア苗をポットから取り出して丁寧に植えました。１年生の中には，ポットの苗をプランターに植えた経験がない生徒もいましたが，２・３年生の姿を見て，しっかりと植えることができました。これからは当番制で全校生徒が水やりをして花を育てます。美しい花が咲き，地域の方々が思わず足を止めてくださるとうれしいですね。





三中部活動

能登地区大会

１３日（日）と１９日（土）・２０日（日）にバスケット部・ソフトテニス部・野球部の能登地区大会が行われました。残念ながら，県大会出場の切符は手にすることはできませんでしたが，試合の内容は勝利まであと一歩というところまで詰め寄るなど，満足できるものでした。また，「最後まであきらめずにプレーする」「チームとして協力して頑張る」など一段と成長した姿が見られました。

今回は，能登地区大会を終えて，各部の主将の思いを語ってもらいました。

バスケットボール部　　道端　薫子

能登地区大会は，負けてしまいましたが，楽しい試合でした。また，互いに励まし合ったり，話し合ったりしながら試合ができたので，きちんと自分たちの良さであるコミュニケーション力を生かせた試合でもありました。



プレーや応援で支えてくれた，1･2年生。そして，生活面などで支えてくださった両親，先生方，本当にありがとうございました。1･2年生は，この大会で得ことを糧にして，これから頑張ってほしいです。

野球部　　泉　漣太



能登地区大会を終えて，結果は負けてしまったけれど，僕たちはベストを尽くせたと思います。また，試合を通して明るい声を出して良い雰囲気を保つことができました。新チームで挑む新人大会に向けて，日々の練習でも明るい声を絶やさず，試合のためになる練習を続けていってください。

ソフトテニス部　　前田　和音

能登地区大会を終えて，私は声が出ていてよかったと思いました。団体戦の時は緊張しすぎて，あまり声が出ていませんでした。でも，個人戦では「声を出すこと」と「今まで練習してきたことをやる」ということを目標に試合にのぞみました。結果は，コミュニケーションをとって声を掛け合って強気でプレーすることで，１回戦を勝つことができました。このことから，私は話すことは大切だと思いました。



２年生はまだまだ強くなれるし，今回は惜しい試合だったのでこれからもっと成長できると思います。

１年生のしっかりとした応援は私たちの力になりました。次はチームとして試合に出ることもなるので練習に集中して頑張ってください。応援しています。悔いの残らないような練習をしてください。

応援して下さった皆様
どうもありがとうございました。

県中学生相撲選手権大会　石川県大会

相撲部は，能登地区大会が中止となったため，６月２７日（日）選手権大会と７月１７日（土）県大会に臨むこととなりました。次の大会の抱負を主将に語ってもらいました。健闘を祈ります。

相撲部　　高木　幹太



すばやく自分の得意な形をつくって，相手に何もさせずに押し切る相撲を目標にします。最後まで全力で，楽しんで頑張ります。これまでの練習の成果を発揮し，自分が納得できる結果を残したいです。そのためにも，緊張せずにリラックスして，冷静に，ポジティブに考えるようにしていきたいです。

試合では，これまでの練習の成果を発揮して，自分が納得できる相撲をとりたいです。